

令和2年度 事務事業評価(令和元年度実施事業事後評価)シート / 令和3年度 実施計画調書 (新規 拡充 縮小 休止・廃止 現状維持)

1 事務事業の基本情報											整理番号	001			
事務事業名	市民活動協働推進事業費				補助区分	<input type="checkbox"/> 国補 <input type="checkbox"/> 県補 <input checked="" type="checkbox"/> 市単	終期	<input type="checkbox"/> 決まっている (年度まで) <input checked="" type="checkbox"/> 決まっていない	予算	会計名	一般会計	款	項	目	事業
担当部	市長公室	担当課	市民と共に考える課		担当係	市民協働係				2	1	7	1		
位置付けられている計画等	<input checked="" type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画 <input checked="" type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」 <input type="checkbox"/> 常総市復興計画 <input type="checkbox"/> 市民等からの要望 <input type="checkbox"/> 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略 <input type="checkbox"/> その他の計画 (名称:)				根拠法令及び市条例等	<input type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称:) <input type="checkbox"/> 国・県からの通達等 (名称:) <input checked="" type="checkbox"/> 市の条例・要綱・規則等 (名称: 常総市市民協働のまちづくり推進条例, 常総市市民協働のまちづくり推進条例施行規則)									

2 事務事業の概要											☞ 予算事業全体について記入して下さい。			
対象	市内に居住する外国人及び市内に勤務する外国人				内容・手段	①多文化共生事業(日本語講座, ポルトガル語講座, 料理教室等)の開催 ②国際交流サロンの開催 ③外国語及びやさしい日本語による情報発信 など								
目的	2019年4月の入管法の改正以降, 外国人居住者が増加傾向にあり, 今後も更なる増加が予想されることから, 日本語支援, 外国語による情報提供, 国際交流等を推進することで, 外国人が暮らしやすい環境を整備すると共に, 多文化共生社会の実現を図る。													

3 事務事業の主たる成果指標											☞ 数値目標の設定が困難な場合は, 文言目標でも結構です。なお, 設定が困難な事業は空欄とし, 設定できない理由を分かりやすく・具体的に記入して下さい。			
指標名	多文化共生事業(語学講座)の参加者数		単位	人	目標値	30	目標年次	令和2	年度	指標及び目標値設定の考え方(または設定できない理由)		市で開催する多文化共生講座(語学講座)の参加者数を指標に設定した。目標値を達成することで, 外国人の日本語向上と異文化理解を促進する。		

4 事務事業の実績 ①				2年間の主な事業内容(実績)																			
平成29年度				前年度(平成30年度)						今年度(令和元年度)													
決算額	内訳	特定財源	2,700,000	円	①市民協働のまちづくり推進委員会開催 2回 ②ブラジル人対応通訳・翻訳業務 通年 ③市民協働のまちづくり研修会開催 1回 ④多文化共生事業(日本語講座8回, ポル語講座8回) 16回 ⑤多文化共生事業(ブラジル料理教室) 1回 ⑥コミュニティ助成事業 1か所 ⑦ファミリーーター養成研修会(平均参加人数 31人) 6回 ⑧外国人定住化支援事業(ピアサポーター養成講座等) 12回						①市民協働のまちづくり推進委員会開催 1回 ②ブラジル人対応通訳・翻訳業務 通年 ③市民協働のまちづくり研修会開催 1回 ④多文化共生事業(日本語講座8回, ポル語講座5回) 13回 (日本語教室参加者17人, ポルトガル語講座参加者18人 計35人) ※ポルトガル語講座は, 新型コロナの影響により3回中止 ⑤コミュニティ助成事業 2か所 ⑥外国人相談窓口の設置準備(内部調整, 交付申請等) 1か所												
6,759,538	円	一般財源	4,059,538	円	目標に対する実績値						— 人												
(住民一人あたりの行政コスト)				112				円				(住民一人あたりの行政コスト)				156				円			
平成30年度				令和元年度						令和2年度													
決算額	内訳	特定財源	5,174,800	円	①市民協働のまちづくり推進委員会開催 2回 ②ブラジル人対応通訳・翻訳業務 通年 ③市民協働のまちづくり研修会開催 1回 ④多文化共生事業(日本語講座8回, ポル語講座8回) 16回 ⑤多文化共生事業(ブラジル料理教室) 1回 ⑥コミュニティ助成事業 1か所 ⑦ファミリーーター養成研修会(平均参加人数 31人) 6回 ⑧外国人定住化支援事業(ピアサポーター養成講座等) 12回						①市民協働のまちづくり推進委員会開催 1回 ②ブラジル人対応通訳・翻訳業務 通年 ③市民協働のまちづくり研修会開催 1回 ④多文化共生事業(日本語講座8回, ポル語講座5回) 13回 (日本語教室参加者17人, ポルトガル語講座参加者18人 計35人) ※ポルトガル語講座は, 新型コロナの影響により3回中止 ⑤コミュニティ助成事業 2か所 ⑥外国人相談窓口の設置準備(内部調整, 交付申請等) 1か所												
9,345,136	円	一般財源	4,170,336	円	目標に対する実績値						— 人												
(住民一人あたりの行政コスト)				156				円				(住民一人あたりの行政コスト)				120				円			
決算額	内訳	特定財源	5,058,000	円	①市民協働のまちづくり推進委員会開催 2回 ②ブラジル人対応通訳・翻訳業務 通年 ③市民協働のまちづくり研修会開催 1回 ④多文化共生事業(日本語講座8回, ポル語講座8回) 16回 ⑤多文化共生事業(ブラジル料理教室) 1回 ⑥コミュニティ助成事業 2か所 ⑦ファミリーーター養成研修会(平均参加人数 31人) 6回 ⑧外国人定住化支援事業(ピアサポーター養成講座等) 12回						①市民協働のまちづくり推進委員会開催 2回 ②ブラジル人対応通訳・翻訳業務 通年 ③市民協働のまちづくり研修会開催 1回 ④多文化共生事業(日本語講座8回, ポル語講座8回) 16回 ⑤多文化共生事業(料理教室) 1回 コミュニティ助成事業 2か所												
7,177,268	円	一般財源	2,119,268	円	目標に対する実績値						35 人												
(住民一人あたりの行政コスト)				120				円				(住民一人あたりの行政コスト)				120				円			

5 担当課評価 ③		☞ 実施したことによる成果や課題を記入して下さい。	
成果	ほぼ目標どおり		
成果内容分析	日本語講座17名, ポルトガル語講座18名の申し込みがあり, 参加人数は35名であったが, 途中辞退者や数回しか参加しない方がおり, 半分以上参加した方は25名(日本語講座11名, ポルトガル語講座14名)で全体の71%であった。参加者全員がすべての回を受講できておらず, ポルトガル語講座においては新型コロナウイルスの影響で3回が中止となったが, 外国人の日本語向上, 日本人のブラジル文化への理解促進に寄与することができた。		
課題	参加者の途中辞退を無くし, 参加者全員が満足して受講できるよう, 参加者のニーズにあった指導方法が必要となっている。特に, 日本語講座については, 日本語指導に関する資格や一定の知識を有する指導者に依頼することで, 参加者のレベルに応じた講座を実施していきたい。		

6 担当部長評価 ④		☞ 担当課長で協議のうえ, 評価して下さい。	
事務事業の方向性			
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止			
評価理由	多文化共生については, 昨年4月に出入国管理法が改正となった主旨と方向性を踏まえ, 引き続き外国籍市民が暮らしやすい環境整備を促進してもらいたい。また, 市民活動支援については, 団体運営の参考となる誰もが気軽に参加できる研修会やワークショップを企画してもらいたい。		

8 行政改革懇談会(市民)の意見		☞ 担当部長評価のとおりでよい。	
多文化共生社会の実現という方向性はよいので, 新型コロナウイルス感染症の情勢に注視しながら, 事業を展開して欲しい。ただし, 講座途中辞退者が散見されることや, 講座自体の効果に疑問が残ることから, 講座内容や事業手法の再考も検討されたい。			

9 最終評価(行政改革推進本部) ⑤		☞ 実施計画のみ作成する場合も記入して下さい。	
事務事業の方向性			
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止			
評価理由	県内でも外国人登録の多い本市にとって, 多文化共生を進めていくことは非常に重要である。今年度はこれまで準備をしてきた多言語対応の翻訳機器等を導入するなど, 今後も引き続き各事業の推進を図り, 特に常総市に馴染んで頂くための日本語講座の充実に取り組みたい。		

7 実施計画 ⑥											☞ 今後3年間について, 何を・どの程度実施していくか具体的に記入して下さい。なお, 予算額の『歳出の計』と『歳入の計』は一致させてください。							
年度	令和2年度				令和3年度				令和4年度									
事業内容	市民協働のまちづくり推進委員会開催 2回 市民協働のまちづくり研修会開催 1回 ポルトガル語通訳・翻訳業務 通年 多文化共生講座(語学講座) 16回 多文化共生講座(料理教室) 1回 コミュニティ助成事業 2か所 外国人相談窓口に係る整備費(備品購入等) 1か所 外国人相談窓口に係る運営費(人件費等) 1か所 ※外国人相談窓口に係る予算(人件費, 整備費, 運営費)については, 令和2年度から市民課予算にて対応				市民協働のまちづくり推進委員会開催 2回 市民協働のまちづくり研修会開催 1回 多文化共生事業(語学講座) 16回 多文化共生事業(料理教室) 1回 コミュニティ助成事業 2か所				市民協働のまちづくり推進委員会開催 2回 市民協働のまちづくり研修会開催 1回 多文化共生事業(語学講座) 16回 多文化共生事業(料理教室) 1回 コミュニティ助成事業 2か所									
	成果指標	指標名	多文化共生事業(語学講座)の参加者数	単位	人	目標値	30	指標名	多文化共生事業(語学講座)の参加者数	単位	人	目標値	30	指標名	多文化共生事業(語学講座)の参加者数	単位	人	目標値
予算額	歳出	計	11,664		千円	歳出	計	5,773		千円	歳出	計	5,773		千円			
		特定財源	9,560		千円	歳出	特定財源	5,080		千円	歳出	特定財源	5,080		千円			
	歳入	一般財源	2,104		千円	歳入	一般財源	693		千円	歳入	一般財源	693		千円			
		計	11,664		千円	歳入	計	5,773		千円	歳入	計	5,773		千円			